

## GW2050 成長戦略発表について

GW2050 PROJECTS 推進協議会（以下、GW2050という。）は、那覇港湾施設・牧港補給地区・普天間飛行場・那覇空港の4エリアを沖縄成長の「価値創造拠点」と位置づけ、世界に誇るゲートウェイとして戦略的に機能分担し、一体的な跡地開発を進める取り組みです。

県民の心豊かな平和な暮らしを大切に、沖縄の魅力をさらに高めるために、労働生産性向上や付加価値の高い産業構造の創出、まちづくりの中核となる人材育成を進め、2050年までに県内総生産と県民所得を現在の2倍以上に押し上げ、「自立型経済」の実現を目指します。

2024年度に沖縄県全体のグランドデザインを描き、2025年度には、そのグランドデザインを具現化する実行計画として4つの柱(4Pillar Initiatives)と、それを支える3つの基盤分野(3Bases)における28の打ち出し策を体系的にとりまとめ、グランドデザインと実行計画を軸とした「GW2050 成長戦略」を策定いたしました。

今後は、「GW2050 成長戦略」の早期実現に向けスピード感をもって取り組み、その経済効果の本島から離島まで、沖縄全県へと波及させていきます。より豊かな未来の実現に県民の皆様と共に手を取り合い、新しい沖縄の可能性を切り拓いてまいります。

・添付資料：GW2050 成長戦略

○ お問い合わせ先  
GW2050 PROJECTS 推進協議会 事務局  
Mail : [contact@gw2050.okinawa](mailto:contact@gw2050.okinawa)



詳細につきましては、  
左記 QR コードよりご確認ください  
※本日 13:00 資料公開予定

### 【沖縄の現状・課題と成長目標】

沖縄は観光関連産業を軸に成長を遂げてきた一方で、以下の課題が続いています。

- ・ 社会課題：低所得、こどもの貧困、若者の県外流出、離島の過疎化、交通渋滞 等
- ・ 構造的要因：労働生産性の低い労働集約型産業への依存、経済的価値の県外流出により地域内に利益が留まらない構造

- GW2050 は、労働生産性と域内自給率の改善に向けて取り組み、県内総生産と県民所得を足元の「2倍以上」に押し上げ、県民の豊かな生活の実現に向けスピード感を持ち全県的に推進してまいります。

### 【成長目標実現に向けた取組み】

「飛躍的な産業発展」を成長目標実現の軸として取り組みを推進します。

#### 1. 経済成長に向けた産業高付加価値化・新たな成長産業創出

- ・ 産業高付加価値化：基幹産業である観光関連産業の成長を起点に、「観光依存」から「観光を起点に多産業が連動する循環型モデル」へ進化させ、持続的発展を目指します。
- ・ 新たな成長産業創出：沖縄が世界と勝負できる成長領域において、R&D(研究開発)やスタートアップ、周辺企業等が集積するイノベーションパーク機能を整備し、県内に知財や収益が残る仕組みを構築します。

#### 2. 沖縄の成長を支えるひとづくり

「世界に挑戦する沖縄」の実現に向けて、経営人材、専門人材、グローバル人材などの育成を通じて、人が育ち・集まり・活躍する循環を生み出します。

#### 3. 基幹交通整備による沖縄の発展

慢性的な渋滞による年間 1,500 億円相当の機会損失を解消するため、交通ネットワークを高度化。将来の基幹交通と整合させつつ、初期投資を抑えて早期に導入可能な「BRT（次世代型バス高速輸送システム）」の整備に着手します。

#### 4. 経済成長に必要なまちづくり

返還後の飛躍的な経済成長を見据え、具体的な取り組みを県全域で推進します。

イノベーションパーク等のコア機能を整備し、3 拠点で連動した戦略的な機能分担により一体的かつ魅力的な成長戦略を描き、沖縄全域へ波及効果を生み出します。

#### 5. 那覇空港の機能強化

那覇空港は沖縄振興・離島振興を支える重要拠点であり、需要拡大により年間旅客数 3,600 万人規模への増加が見込まれます。空港が経済成長のボトルネックとならないよう、空港機能を強化し、「世界最高水準の国際リゾート・ビジネス空港」の実現を目指します。

以上